

## 健康保険組合 2025 年度決算に関し連絡の件

2026 年 6 月 24 日開催の第 191 回健康保険組合 組合会にて、2025 年度決算が承認されましたので概要をお知らせいたします。

2025 年度は、前年度に実施いたしました健康保険料率の引き上げ（9.0⇒10.0%）に加え、加入者の皆さまの報酬増加に伴う保険料収入の増加により、2 年連続の黒字決算となりました。

当健康保険組合では、さまざまな医療費適正化対策を実施しております。事業所（会社）と協力して健康経営を推進し、健康増進サービス「kencom」等を通じて、加入者の健康増進や重症化予防、軽運動の促進を図り、ウォーキングイベント「みんなで歩活」、家族健診事業・特定保健指導の実施、ジェネリック医薬品の利用促進、運営費の効率化等に努めてまいります。

引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

### 1. 決算概要

#### a. 健康保険（過去 5 年決算状況）

（単位：百万円）

		2021	2022	2023	2024	2025	
		決算	決算	決算	決算	決算	前年比(%)
収 入	保険料	20,222	20,201	19,665	22,175	23,247	4.8
	その他収入	777	794	830	693	1,135	63.8
総合収入		20,999	20,995	20,495	22,868	24,382	6.6
支 出	保険給付費	13,157	13,775	13,975	13,711	14,275	4.1
	拠出金	7,402	7,821	8,234	7,551	7,426	△ 1.6
	保健事業費	560	533	558	501	531	6.0
	その他支出	494	484	465	450	465	3.3
総合支出		21,613	22,613	23,232	22,213	22,697	2.1
総合収支		▲ 614	▲ 1,617	▲ 2,736	654	1,685	-

■収入合計：2024 年度の健康保険料率引き上げ（9.0⇒10.0%）、報酬増加等に伴う保険料収入増加により、約 243.8 億円（前年比+6.6%）となりました。

■支出合計：保険給付費の増加により、約 226.9 億円（前年比+2.1%）となりました。

■総合収支：約 16.8 億円の単年度黒字となりました（2 年連続）。

#### 【保険給付費】

2025 年度の保険給付費は、約 142.7 億円（前年比+5.6 億円、+4.1%）と過去最高額となりました。現役世代である一般被保険者の医療費が大きく増加したことが影響しています。

#### 【拠出金】

2025 年度は約 74.2 億円、前年比△1.6%となりました。

一方で、2025 年問題等による団塊の世代の高齢化およびわが国全体の医療費増加、後期高齢者支援金における総報酬割が全面導入等により、拠出金は長期的に増加傾向であり、今後も増加が見込まれる状況となっております。

## b. 介護保険（過去5年決算状況）

（単位：百万円）

		2021	2022	2023	2024	2025	
		決算	決算	決算	決算	決算	前年比(%)
収入	介護保険収入	2,284	2,588	2,549	2,599	2,421	▲ 6.8
	その他収入	132	10	26	77	49	-
	総収入	2,416	2,598	2,575	2,676	2,470	▲ 7.7
支出	介護納付金 他	2,416	2,571	2,498	2,328	2,329	0.0
	総支出	2,416	2,571	2,498	2,328	2,329	0.0
総合収支		0	26	77	348	140	-
介護準備金残高		317	307	307	607	707	-

- 総収入：保険料率引下げ（1.8%⇒1.6%）により、約24.7億円（前年比▲7.7%）となりました。
- 総支出：介護納付金が前年同水準であったことで、約23.2億円（前年比+0.0%）となりました。
- 総合収支：約1.4億円の黒字となりました。

## 2. 健康保険組合を取り巻く環境

2025年、我が国では団塊の世代が全員後期高齢者になり、国民の5人に1人が後期高齢者となる超高齢社会が訪れ、これにより後期高齢者の医療費増大が見込まれる、いわゆる「2025年問題」に直面する状況となっております。

後期高齢者医療制度を維持するために、各健保組合からも「後期高齢者支援金」を拠出しておりますが、先述の後期高齢者医療費の増大見込みから、今後も拠出額の増加が見込まれます。

拠出額増加に伴う健保組合財政の悪化は避けられず、保険料率上昇懸念は解消できない見通しとなっております。

そのため、当健保におきましても2024年度健康保険料率改定（10.0%への引上げ）を実施しております。

### 【2026年度 健保組合予算状況】

- ・全国にある1,364組合のうち、約74.0%の1,010組合が赤字予算となっています。
- ・平均健康保険料率は、9.32%（前年比△0.02p）で、保険料率を引き上げたのは101組合となっております。協会けんぽの平均保険料率（9.9%）以上の組合は、376組合（27.5%）となりました。

## 3. 医療費抑制への取り組み

当健康保険組合における医療費の動向としては、中長期的に増加傾向にあり、過去5年間で年間医療費が約11.1億円（約7.7%）増加している状況です。この状況を踏まえ、健康保険組合では、引き続き、医療費の増加抑制、加入者と健康保険組合の負担軽減に取り組んでまいります。そのためには加入者の皆さま一人ひとりのご協力が不可欠です。

事業所（会社）が運営しております『健康経営』を健康保険組合としても強力に推進し、より一層加入者および、そのご家族の健康維持・増進への取組みを強化していきたいと考えております。健康保険組合の現状をご理解いただき、上記取組みへのご協力を、何卒お願いいたします。

## ■具体的な取組みについて

### 【健康管理・病気の早期発見】…特定健診、人間ドック・乳がん検診補給事業

重症化予防のためには、病気の早期発見、早期治療が重要です。

そのためにも被扶養者（ご家族）も含め、毎年の特健健診の受診※をお願いいたします。

※特定健診の対象者には、5月に、健保組合から直接ご自宅あて案内書面を送付しております。  
大切なご家族の健康管理の観点から、被保険者の皆さまからもご家族への受診勧奨を、ぜひともお願いいたします。

### 【生活習慣病・重症化予防】…特定保健指導、若年層向け生活習慣病予防指導

生活習慣病等の重症化予防に向けた、特定保健指導（対象者には個別案内）の実施につきましては、今後の中長期的な医療費削減に効果があります。

指導対象となりました方は、ご自身の健康管理の観点に加え、健保組合の医療費抑制の観点からも必ずご実施いただきますようお願いいたします。

### 【運動習慣づくり・軽運動促進】…ウォーキングイベント「みんなで歩活」

年2回（5月・11月）に健康管理アプリ「kencom」を活用して開催しております。

会社の同じ所属の方や、ご家族等といっしょにぜひご参加ください。

## ■その他、特にご協力いただきたいこと（禁煙がもたらす健康改善効果について）

喫煙が健康に及ぼす影響については、各メディア等で目にする機会もあることと存じます。

禁煙への取組みを始めるタイミングは、もちろん早ければ早いほどよいですが、その一方で、禁煙に「遅すぎる」ということもありません。

さらに、禁煙はご本人のみならず、周囲の方の受動喫煙による健康リスクも軽減することにつながりますので、ぜひとも喫煙抑制、禁煙へのご協力をよろしくお願いいたします。

### <禁煙の継続による効果>

直後	周囲の人をたばこの煙で汚染する心配がなくなる。
20分後	血圧と脈拍が正常値まで下がる。手足の温度が上がる。
8時間後	血中の一酸化炭素濃度が下がる。血中の酸素濃度が上がる。
24時間後	心臓発作の可能性が少なくなる。
数日後	味覚や嗅覚が改善する。歩行が楽になる。
2週間～3か月後	心臓や血管など、循環機能が改善する。
1～9ヶ月後	せきや喘鳴が改善する。スタミナが戻る。 気道の自浄作用が改善し、感染を起こしにくくなる。
1年後	肺機能の改善がみられる。 ※軽度・中程度の慢性閉塞性肺疾患のある人。
2～4年後	虚血性心疾患のリスクが、喫煙を続けた場合に比べて35%減少する。 脳梗塞のリスクも顕著に低下する。
5～9年後	肺がんのリスクが喫煙を続けた場合に比べて明らかに低下する。
10～15年後	様々な病気にかかるリスクが非喫煙者のレベルまで近づく。

以上